



矢吹 晋

横浜市立大教授

(現代中国論)

917  
10・30 Y Y

## 両首脳の会談に意義

主席(当時)以来、十二年ぶりの。八九年の天安門事件後にトップになった江氏の国内地盤は二度の党大会を経て固まった。

他方、クリントン大統領

「会った」ことに最大の意味があるということだ。

中国国家元首の公式訪米

は、八五年の故李先念国家

の会談では両国の意見の相

違が明確になったが、大統領は来年の訪中で成果を上げたいと考えているのではないか。その点で、今回の会談は、来年の会談を控えた、いわば「議事整理」と位置づけていた可能性が高い。来年の訪中は、両国関係に大きな意味を持つだろう。

米中が対立する問題では急進展は望めず、人権問題の改善を迫る米国と、「い

ま民主化したら国内は大混乱する」とする中国の認識は、当面は平行線をたどるだろう。今回合意した項目では、原子力平和利用協定の凍結解除が大きい。米原子力産業の対中輸出が解禁されるが、米国の対中貿易赤字の減少に役立つうえ、地球規模での安全保障について効果的な話し合いの場を提供することになる。

は、献金疑惑など国内で問題を抱えるうえ、中間選挙を来秋に控えている。今回の会談では両国の意見の相

違が明確になったが、大統領は来年の訪中で成果を上げたいと考えているのではないか。その点で、今回の会談は、来年の会談を控えた、いわば「議事整理」と位置づけていた可能性が高い。来年の訪中は、両国関係に大きな意味を持つだろう。

米中が対立する問題では急進展は望めず、人権問題の改善を迫る米国と、「い

ま民主化したら国内は大混乱する」とする中国の認識は、当面は平行線をたどるだろう。今回合意した項目では、原子力平和利用協定の凍結解除が大きい。米原子力産業の対中輸出が解禁されるが、米国の対中貿易赤字の減少に役立つうえ、地球規模での安全保障について効果的な話し合いの場を提供することになる。

は、献金疑惑など国内で問題を抱えるうえ、中間選挙を来秋に控えている。今回の会談では両国の意見の相

違が明確になったが、大統領は来年の訪中で成果を上げたいと考えているのではないか。その点で、今回の会談は、来年の会談を控えた、いわば「議事整理」と位置づけていた可能性が高い。来年の訪中は、両国関係に大きな意味を持つだろう。

米中が対立する問題では急進展は望めず、人権問題の改善を迫る米国と、「い

ま民主化したら国内は大混乱する」とする中国の認識は、当面は平行線をたどるだろう。今回合意した項目では、原子力平和利用協定の凍結解除が大きい。米原子力産業の対中輸出が解禁されるが、米国の対中貿易赤字の減少に役立つうえ、地球規模での安全保障について効果的な話し合いの場を提供することになる。

は、献金疑惑など国内で問題を抱えるうえ、中間選挙を来秋に控えている。今回の会談では両国の意見の相

江沢民・中国国家主席  
(党総書記)とクリントン  
米大統領との首脳会談の評  
価をする前に指摘しておか  
なければならぬのは、今  
回は何よりも両国首脳が

は、八五年の故李先念国家  
の会談では両国の意見の相